

市ヶ谷だより



市ヶ谷キャンパス 教職課程センター

2026 年 1 月号（12/15 発行）

11 月 15 日（土）、東京体育館において「第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025」の開会式が行われ、12 日間で 21 種目の競技が熱戦の火ぶたを切りました。ご存知の方も多いと思いますが、この大会は日本では初めての開催であり、1924 年にパリで第 1 回大会が開催されてから 100 周年となる、歴史に残る大会でした。事前に予約しなくても観覧できることから、私も調布市にある「武蔵野の森総合スポーツプラザ」まで、バドミントンの応援に行ってきました。蛇足ですが、この会場は神津島の高校に勤務していた頃、飛行機を使って往復すると離着陸の直前に眼下に見えましたが、中に入ったのは初めてでした。応援席に着くと、手話を使った説明があったり、モニターにはテロップ入の映像が流れていたり、他の大会では体験できない環境下で競技が行われていました。



この大会で、残念ながらメダル獲得を逃した選手の中に、柔道男子 66 キロ級の佐藤正樹選手がいます。佐藤選手は、生まれつきの難聴で、10 代の頃は補聴器をつけている自分が嫌いであり、「みんなと同じ聴者になりたいのになれない。孤独な世界にいるようだった」と振り返っています。しかし、佐藤選手に転機をもたらしたのが、山梨県立甲府工業高校時代の担任からの『足が速い人も遅い人もいる。耳が聞こえないことも個性だよ』という言葉だったそうです。その後、佐藤選手は高校の担任の姿に憧れ、中学校、高等学校及び特別支援学校の教員免許状取得を目指すこととなりますが、教育実習先の聾学校で保護者の一人から「子どもの将来が不安」という声を聞き、『だったら私が夢を与えたい』という気持ちが強くなり、5 歳で始めた柔道への熱が高まったそうです。やはり、先生の言葉は、生徒の将来に少なからず影響がありますね。

☆『教職課程センター』って、学生たちにどんな支援をしてくれるの？



- ◇教員採用試験に関する相談に応じています
- ◇教職教養、論作文及び面接試験等の対策講座を開講しています（何と受講料は無料！）
- ◇論作文や面接等の個人指導も行っています
- ◇教員採用試験の問題集及び参考書、教職関係の書籍の閲覧・貸出を行っています
- ◇“合格者の体験を聞く会”や“現役教員の話聞く会”等のイベントを開催しています
- ◇教育委員会の担当者を招き、教員採用試験に関する説明会を開催しています

＜教職課程センター 1 月の相談指導予定＞

変更になる場合もあります

1 月	9:00~12:20	14:10~16:50	1 月	9:00~12:20	14:10~16:50
8 木	個別相談	個別相談	21 水	相談指導なし	相談指導なし
9 金	個別相談	個別相談	22 木	面接・討論対策講座	個別相談
13 火	個別相談	個別相談	23 金	論作文対策講座	個別相談
14 水	個別相談	個別相談	27 火	個別相談	個別相談
15 木	個別相談	個別相談	28 水	教職教養対策講座	個別相談
16 金	個別相談	個別相談	29 木	個別相談	個別相談
20 火	個別相談	個別相談	30 金	個別相談	個別相談

◇ 各対策講座は、午前 9:00~10:30 の時間設定となります。

◎相談指導・各種イベントのお申し込みは◎

教職課程センター（月～金 9:30~17:30）に来室又はメール（kkc@ml.hosei.ac.jp）にて

【URL】http://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/